

14万4千人の世界宣教

2026年4月26日

ヨハネの黙示録 7章1～17節
マタイの福音書 24章9～14節（患難期前半）

序：7章は封印のさばき（6章と8章1節の間、患難期の前半の前半の間）継続

I. 神のしもべたちへの神の守り

- (1) 御使いたちに命じて、強風大風から自然界に害が及ばないようにされた
- (2) 神のしもべたちに印を押してしまうまで（印＝奉仕（しもべ）、守り（敵から））

II. 印を押された人々

- (1) 144000人のユダヤ人（イスラエル12部族×12000人）
ダンとエフライムが入っていない、ヨセフと子マナセが入っている
12にこだわって1つをはずす？
- (2) 彼らは教会が擧げられた後にイエス・キリストを信じた（世界に離散、居住）
- (3) マタイ 24・14の成就（だれが福音を伝えるか）

III. 世界的大リバイバル

- (1) 福音が証しされた結果、何が起こるか
- (2) あらゆる国民（ユダヤ人も異邦人も）のうちから数え切れないほどの群衆として
神と小羊を礼拝（長老たち、4つの生き物、御使いもともにいる）
- (3) 白い衣：大患難の中で、小羊の血で洗った（信仰による神の義） 現在形
- (4) 非常な苦難を通り、天においてははなぐさめを与えられている
- (5) 御座の前で、昼も夜も神に仕える、神は彼らの上に幕屋を張る（cf. かてしやうじゆ）

IV. 救われた人たち

- (1) 罪を赦され、義とされ、喜びと平安をもって神に仕え、礼拝する光栄
- (2) 神は永遠にともにいてくださる
- (3) 飢えも渇きも炎熱もすべての災いから守られる
- (4) 小羊イエス＝羊（信者）の大牧者（守り育てくださる）
いのちの水の泉へと先導（新しい永遠のいのちの付与と保持）
涙を拭い、労苦を労い、慰めてくださる

V. 注意点とまとめ

- (1) エホバの証人は144000人は救われる人の総数だと言っている
- (2) 世界大のリバイバルは患難期の前半に起こる（マタイ24・14の成就）
局部的・部分的リバイバルは今までも今もこれからもある
- (3) 患難期の信者（聖徒）も天の礼拝（千年王国～永遠の御国の礼拝）をともにする
- (4) 終わりなき新しいいのちをいただき、崇高かつ頼もしい牧者キリストに導かれる
羊、群れとなっていのちの水の泉、緑のまきばに導かれる楽しさ、安けさに感謝

永遠の御国
天国

最後の審判

千年王国

地上

地上再臨

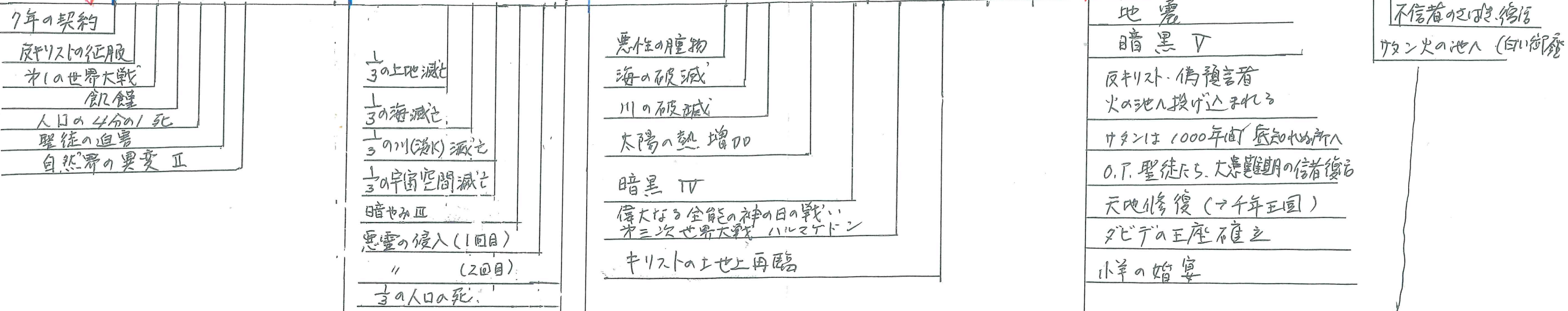
後半

大患難時代

前半

救済時代

空中再臨



7年の契約
反キリストの征服
第1の世界大戦
飢饉
人口の4分の1死
聖徒の迫害
自然界の異変 II

1/3の土地滅亡
1/3の海滅亡
1/3の川(淡水)滅亡
1/3の宇宙空間滅亡
暗黒 III
悪霊の侵入(1回目)
" (2回目)
1/3の人口の死

悪性の腫物
海の破滅
川の破滅
太陽の熱増加
暗黒 IV
偉大なる全能の神の日の戦い
第三次世界大戦 ハルマゲドン
キリストの地上再臨

地震
暗黒 V
反キリスト・偽預言者
火の池へ投げ込まれる
サタンは1000年間底知れぬ所へ
O.T. 聖徒たち 大患難期の信者復活
天地修復 (→千年王国)
ダビデの王座確立
小羊の婚宴

不信者のさばき 復活
サタン火の池へ (白い御座)

(政治) 10人の王統治
144000人の宣教 世界大のバビロン
二人の証人の証し
(エリヤの働き) マチ 4.8-6
(宗教) 偽宗教組織バビロン Rev. 17

- 1 第二次世界大戦
- 2 反キリストの死
- 3 サタンが地上に落とされる
- 4 反キリストの復活
- 5 三人の王の死 (10人のうち7人は反キリストに)
- 6 宗教組織バビロンの破壊
- 7 二人の証人の死
- 8 7年の契約(イスラエルと反キリスト)破棄
- 9 荒らす憎むべき者
- 10 偽預言者登場
- 11 666 反キリストを礼拝する
- 12 エリヤ人への迫害始まる

にせの三位一体(サタン・反キリスト・偽預言者)が
エリヤ人を迫害しはじめる

永遠の死
第二の死
地獄